



2016年3月29日

報道発表資料

川崎市

JR東日本横浜支社

～地元高校生による地域活性化～

## 川崎駅南武線ホーム発車メロディとして川崎市歌を導入します

川崎市とJR東日本横浜支社は、川崎市立商業高等学校生徒による「高校生の力で地域を活性化する」をテーマとした“音で地域を活性化する”取組に対して、その熱意と想いに応え、相互に連携協力して、川崎駅南武線ホーム発車メロディを「川崎市歌」に変更することを決定いたしました。

楽曲のアレンジは生徒たち自ら行っており、一般的な市歌が持つ重厚で厳かなイメージを払拭するような明るく軽妙な仕上がりになっております。是非、川崎駅で発車メロディをお聞きください。

### 1 発車メロディ変更

- (1) 使用楽曲 川崎市歌（作詞：<sup>こばやししゅんぞう</sup>小林俊三 作曲：<sup>たかしなてつお</sup>高階哲夫 アレンジ：川崎市立商業高等学校生徒）
- (2) 使用箇所 川崎駅南武線ホーム5番線および6番線 ※各番線でアレンジが異なります。
- (3) 使用開始日 2016年4月5日（火）初電から使用開始

### 2 発車メロディ変更セレモニー等

導入当日にセレモニー等は実施いたしません。本日、川崎市役所において、川崎市立商業高等学校生徒が川崎市長に取組を報告し、その場で、川崎駅長が発車メロディ導入決定の発表を行いました。

#### ※楽曲「川崎市歌」について

1934年（昭和9年）に市制10周年を記念して制定された。歌詞は一般公募の入選作で、作曲は「時計台の鐘」で知られる高階哲夫が作曲している。